

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土) Aブロック 1回戦 富士北麓公園体育館 Aコート 第3試合

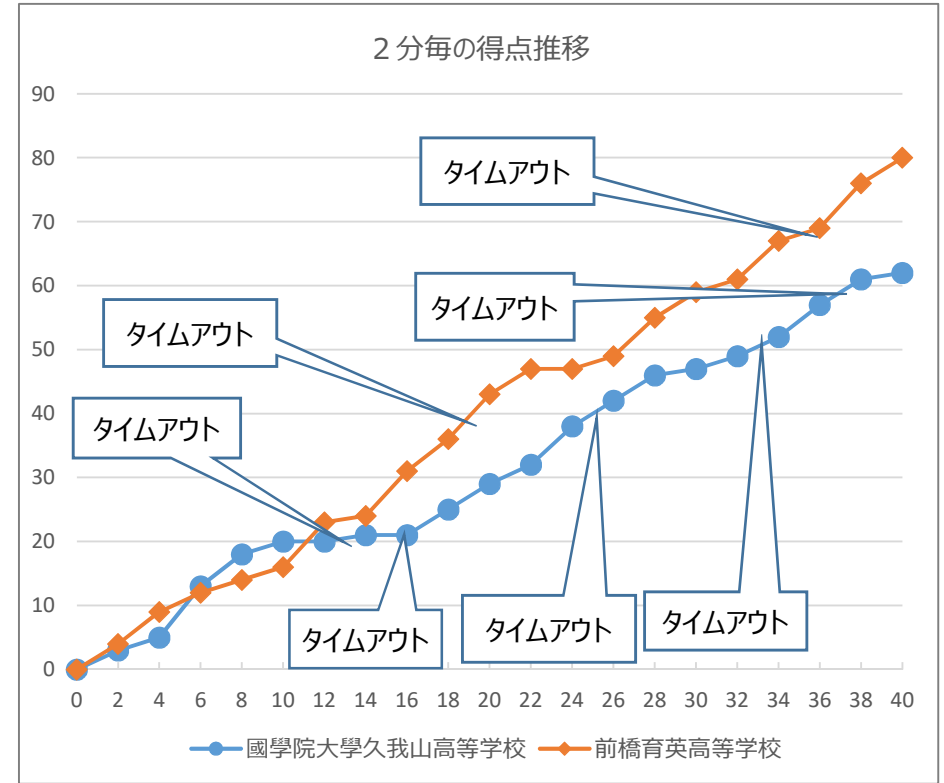
チームA		20	1st	16		チームB
國學院大學久我山高等学校 (東京都)	62	9	2nd	27	80	前橋育英高等学校 (群馬県)
		18	3rd	16		
		15	4th	21		
		OT				

Aチーム： 國學院大學久我山高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		4	出光 実	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
2		5	上銘 光	4	0	0	2	3	0	0	1	2	2	4
3		6	大澤 楓真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	*	7	トカチヨフ ヤン	9	0	1	4	10	1	2	4	4	7	11
5	*	8	長橋 冬真	12	0	0	5	12	2	8	2	2	6	8
6		9	田川 奨真	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3
7	*	10	富田 凌	13	0	4	6	9	1	2	1	1	3	4
8	*	11	岡部 雅大	9	1	4	2	11	2	4	1	0	1	1
9	*	12	石水 鴻	5	1	2	0	3	2	2	1	0	2	2
10		13	黒田 悠太	9	3	8	0	1	0	0	1	1	2	3
11		14	中尾 壮真	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
12		15	石坂 悠月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
13		16	宇津木 雅樹	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0
14		17	宇津木 舜佑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		18	川上 優介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC/TEAM			酒井 良幸											
			合計	62	5	20	19	51	9	20	15	10	27	37

Bチーム： 前橋育英高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	野本 康悟	17	2	3	5	12	1	1	1	0	0	0
2	*	5	田中 勇颯	14	0	0	7	11	0	0	2	3	9	12
3	*	6	高橋 涼太郎	5	1	6	1	2	0	0	2	0	2	2
4		7	船戸 海惇	2	0	1	1	5	0	2	5	1	6	7
5	*	8	向 奏瑠	8	0	0	3	12	2	4	2	4	2	6
6	*	9	高橋 佑太	13	1	5	3	5	4	6	0	1	2	3
7		10	川上 航生	12	0	1	6	9	0	0	0	0	2	2
8		11	渡部 輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9		12	永井 優斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		13	細田 畝員	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
11		14	大川 銀雅	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1
12		15	石川 昂	5	0	2	1	5	3	3	4	1	1	2
13		16	野村 康太	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14		17	鈴木 力輝也											
15		18	南 征宏											
HC/TEAM			加賀谷 寿											
			合計	80	4	20	29	63	10	16	16	10	25	35



戦評

記事者：仲田 浩士 (山梨県高体連)

久我山ハーフコートマンツーマン、前橋育英オールコートマンツーマンでスタート。前橋育英は激しいディフェンスから早い展開を狙い、#4のスティールや3Pでリードする。一方久我山はゆっくりとした展開から中と外を上手く使い分け、#13の連続3Pで逆転に成功。1Qを20-16久我山リードで終える。2Q前橋育英の粘り強いディフェンスの前に久我山はなかなか得点できない。前橋育英は#6の連続3Pや#15のブレイクなどで残り3分21-34とリード。久我山は#10、#8のゴール下などで対抗し、29-43前橋育英リードで前半を折り返す。

後半、最初にペースを掴んだのは久我山。40-47と追いつけたところで前橋育英がT Oを取ると、#4、10の連続シュートで再び42-53と突き放す。久我山は#7や#8が上手いポストプレイを見せるが差は縮まらず、47-59と前橋育英が12点リードで3Qを終える。4Q、久我山は#8のゴール下や#12、13の3Pなどで応戦するが、前橋育英の#15がゲームを上手くコントロールし、ゴール下では#5が4本連続でシュートを決め存在感を示す。前橋育英が追いつがる久我山を突き放し62-80で試合終了。前橋育英の試合巧者ぶりが際立ったゲームとなった。

主審	第1副審	第2副審
渡邊 諭 (栃木県)	山岸 大輔 (埼玉県)	古屋 勝規 (山梨県)